

平成 16 年 3 月期

## 第 1 四半期業績の概況（連結）

平成 15 年 7 月 23 日

上場会社名 株式会社ファンケル

(コード番号： 4921 東証第一部)

(URL <http://www.fancl.co.jp>)

代 表 者 代表取締役社長 藤原 謙次  
問合せ先責任者 取締役管理本部長 松本 克彦

TEL : ( 045 ) 226 - 1200

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度におけ る認識の方法との相違の有無

(内容)

固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産……年度見込額のうち当四半期分を計上しております。

(2)無形固定資産……年度見込額のうち当四半期分を計上しております。

法人税等の計上基準……法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

## 2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期の業績概況（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 6 月 30 日）

## (1)経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第1四半期	20,885	5.0	3,066	15.0	3,046	15.7	1,714	18.1
15年3月期第1四半期	21,979	-	3,608	-	3,614	-	2,093	-
(参考)15年3月期	90,025		11,526		11,849		6,428	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期第1四半期	76.92	-
15年3月期第1四半期	89.49	-
(参考)15年3月期	279.58	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

## (2)財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第1四半期	79,439	67,556	85.0	3,030.63
(参考)15年3月期	79,804	66,349	83.1	2,976.31

## (3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	30	1,178	486	24,733
(参考)15年3月期	9,828	5,582	5,432	26,370

3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	42,500	4,400	2,600	116 63
通期	92,100	11,300	6,600	296 06

第1四半期は、通信販売を中心に売上高が当初予想を下回る結果に終わりました。今後も厳しい状況が続くことを勘案し、中間期、通期ともに予想売上高を前回公表値に対してそれぞれ 31 億円づつ下方修正いたしました。なお、利益につきましては、減収による利益減少の要因はありますが、諸経費の削減によりカバーすることとしており、前回公表値を修正しておりません。

\* 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

## 経営成績（当四半期の概況）

当四半期のわが国経済は、設備投資が若干伸びてはいるものの、依然として個人消費の低迷は続き、景気の不透明感がぬぐえない状態が続いております。

化粧品業界は、価格の二極化が依然として続いているなか、マーケット全体としては微増に転じておりません。

健康食品業界は、市場は拡大しているものの、さらに競争の激化が顕著となっております。

### （１）化粧品関連事業

ファンケル化粧品は、前期不振だったボディケア製品の活性化を図るため、5月21日に「シェイプデザイン」ボディローションを発売しました。アテニア化粧品は、美白関連製品や美容液を中心にリニューアルと新製品の投入を行いました。

#### 売上高

化粧品関連事業の売上高は、8,854百万円（前年同期比7.9%減）となりました。

	平成15年3月期 第一四半期		平成16年3月期 第一四半期		伸び率
	金額	構成比	金額	構成比	
ファンケル化粧品	7,757百万円	80.7%	6,662百万円	75.2%	14.1%
アテニア化粧品	1,774百万円	18.5%	2,054百万円	23.2%	15.8%
その他	80百万円	0.8%	137百万円	1.6%	71.0%
合計	9,612百万円	100.0%	8,854百万円	100.0%	7.9%

	平成15年3月期 第一四半期		平成16年3月期 第一四半期		伸び率
	金額	構成比	金額	構成比	
通信販売	5,941百万円	61.8%	5,561百万円	62.8%	6.4%
店舗販売	2,856百万円	29.7%	2,670百万円	30.2%	6.5%
その他	814百万円	8.5%	622百万円	7.0%	23.6%
合計	9,612百万円	100.0%	8,854百万円	100.0%	7.9%

**通信販売**は、5,561百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

ファンケル化粧品は、広告宣伝、販売促進費の投下が遅れたことなどにより、顧客数が減少しました。ボディケア製品は新製品効果により前年同期を上回ったものの、基礎化粧品、メイク製品ともに減少し、売上高は3,620百万円（前年同期比14.7%減）となりました。

一方、アテニア化粧品は、効果的な広告宣伝活動と販売促進活動により顧客数が過去最高となり（6月末現在）基礎化粧品、メイク製品ともに引続き好調で、売上高は1,941百万円（前年同期比14.5%増）となりました。

**店舗販売**は、4月4日にファンケルスクエアがオープンしましたが、回復基調にあった既存店の売上高が減少に転じ、2,670百万円（前年同期比6.5%減）となりました。6月末店舗数は、ファンケルハウス119店舗（フランチャイズ2店舗を含む：当四半期中、出退店なし）、アテニアショップ5店舗（当四半期中、出退店なし）、その他業態2店舗（当四半期中、出退店なし）となりました。

**その他の販売チャネル**は、ローソンでの日販金額の伸び悩みとSARSの影響等による香港向けの減少により、売上高は622百万円（前年同期比23.6%減）となりました。

## 営業損益

損益面では、原価率の改善と広告宣伝費・販売促進費が減少し、営業利益率は前年同期に比べ 1.8 ポイント上昇し 24.5%となりました。しかし、ファンケル化粧品の売上減が大きく、営業利益は 2,168 百万円（前年同期比 0.8%減）となりました。

### (2) 健康食品関連事業

健康食品関連事業では、5月21日に「シェイプデザイン」サプリメント、韓国新薬と共同開発した免疫増強効果などが期待できるサプリメント「メシマコブ」を発売しました。

#### 売上高

健康食品関連事業の売上高は、6,844 百万円（前年同期比 5.4%減）となりました。

	平成 15 年 3 月期 第一四半期		平成 16 年 3 月期 第一四半期		伸び率
	金額	構成比	金額	構成比	
通信販売	4,105 百万円	56.8%	3,899 百万円	57.0%	5.0%
店舗販売	1,309 百万円	18.1%	1,368 百万円	20.0%	4.5%
その他	1,816 百万円	25.1%	1,576 百万円	23.0%	13.2%
合計	7,231 百万円	100.0%	6,844 百万円	100.0%	5.4%

**通信販売**は、3,899 百万円（前年同期比 5.0%減）となりました。競争激化により新規のお客様の獲得が進まず、顧客数が減少しました。製品別では、新製品効果によりダイエット関連製品は増加しましたが、サポートシリーズやビタミン・ミネラル製品の売上減少をカバーするには至りませんでした。

**店舗販売**は、化粧品販売が中心のファンケルハウスでは前期並みの売上高となりましたが、元気ステーションの新店とファンケルスクエアの効果により、売上高は 1,368 百万円（前年同期比 4.5%増）となりました。6 月末店舗数は、元気ステーションは 9 店舗（当四半期中 1 店出店）、元気ネットは 2 店舗（当四半期中 8 店退店）となりました。

**その他の販売チャネル**では、コンビニエンスストアでの日販金額の伸び悩みと SARS の影響等による香港向けの減少により、売上高は 1,576 百万円（前年同期比 13.2%減）となりました。

## 営業損益

損益面では、売上減と一部原材料価格の高騰により売上総利益が大幅に減少し、広告宣伝費などの費用減はあったものの営業利益は 1,289 百万円（前年同期比 25.4%減）、営業利益率は 5.1 ポイント低下し 18.8%となりました。

### (3) その他事業

#### 売上高

その他事業の売上高は、5,186 百万円（前年同期比 1.0%増）となりました。

	平成 15 年 3 月期 第一四半期		平成 16 年 3 月期 第一四半期		伸び率
	金額	金額	金額	金額	
発芽玄米事業	1,445 百万円		1,564 百万円		8.2%
青汁事業	430 百万円		793 百万円		84.3%
NGC 通販事業	2,543 百万円		1,947 百万円		23.5%
その他の事業	714 百万円		881 百万円		23.3%
合計	5,135 百万円		5,186 百万円		1.0%

**発芽玄米事業**は、通信販売は 8kg、4kg などの徳用タイプの販売が順調で、堅調に推移しましたが、全国米穀販売事業協同組合・ホクレン農業協同組合への OEM 供給については、前年は、人気健康情報 TV 番組で何度か取り上げられ好調に推移していましたが、今期は前年同期並みに止まりました。

**青汁事業**は、年間定期購入者が増加したことにより、通信販売が大幅に増加し、また、コンビニエンスストアなど卸販売も好調に推移しました。

**NGC通販事業**は、カタログの内容、顧客サービス、製品ラインナップなど事業全般の見直しに着手しており、売上高は前年同期を下回る結果となりました。

**その他の事業**は、雑貨の販売は堅調に推移したこと、およびファンケルスクエアのエステサロン等の売上高が当四半期から計上されたことにより、前年同期を上回りました。

## 営業損益

損益面では、発芽玄米、青汁事業の収益は改善傾向にありますが、NGC通販事業が減益となったことにより、営業利益は 127 百万円（前年同期比 6.3%減）、営業利益率は 0.2 ポイント低下し 2.5%となりました。

以上の結果、当四半期の売上高は 20,885 百万円（前年同期比 5.0%減）、営業利益は 3,066 百万円（前年同期比 15.0%減）、営業利益率は 1.7 ポイント低下し、14.7%となりました。

営業外損益は、保険返戻金の減少により前年同期より 26 百万円悪化し、経常利益は 3,046 百万円（前年同期比 15.7%減）、経常利益率は 1.8 ポイント低下し 14.6%、当期純利益は、1,714 百万円（前年同期比 18.1%減）、当期純利益率は前年同期より 1.3 ポイント低下し 8.2%となりました。

## 連結貸借対照表

(百万円未満切捨て)

科 目	前 期 (15.3末現在)		当第1四半期 (15.6末現在)		増 減
	金 額	百分比	金 額	百分比	
流 動 資 産	41,207	51.6	40,304	50.7	903
固 定 資 産	38,596	48.4	39,135	49.3	539
資 産 計	79,804	100.0	79,439	100.0	365
流 動 負 債	11,403	14.3	9,814	12.4	1,589
固 定 負 債	2,050	2.6	2,068	2.6	18
負 債 計	13,454	16.9	11,883	15.0	1,571
資 本 金	10,795	13.5	10,795	13.6	-
資 本 剰 余 金	11,706	14.7	11,706	14.7	-
利 益 剰 余 金	48,027	60.2	49,239	62.0	1,212
評 価 差 額 金	9	0	9	0	-
為 替 換 算 調 整 勘 定	0	0	5	0	5
自 己 株 式	4,168	5.2	4,168	5.2	-
資 本 計	66,349	83.1	67,556	85.0	1,207
資 本・負 債 計	79,804	100.0	79,439	100.0	365

## 連結損益計算書

(百万円未満切捨て)

科 目	前年同期 (14.4.1~14.6.30)		当第1四半期 (15.4.1~15.6.30)		増 減	
	金 額	百分比	金 額	百分比	増減額	増減率
売 上 高	21,979	100.0	20,885	100.0	1,094	5.0
売 上 原 価	7,246	33.0	7,090	33.9	156	2.2
売 上 総 利 益	14,732	67.0	13,794	66.1	938	6.4
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	11,124	50.6	10,728	51.4	396	3.6
営 業 利 益	3,608	16.4	3,066	14.7	542	15.0
経 常 利 益	3,614	16.4	3,046	14.6	568	15.7
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	3,614	16.4	3,046	14.6	568	15.7
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,521	6.9	1,332	6.4	189	12.4
当 期 純 利 益	2,093	9.5	1,714	8.2	379	18.1

## セグメント情報

### 事業の種類別セグメント情報

前第一四半期（14.4.1～14.6.30）

（単位：百万円）

	化粧品 関連事業	健康食品 関連事業	その他事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	9,612	7,231	5,135	21,979	-	21,979
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	9,612	7,231	5,135	21,979	-	21,979
営 業 費 用	7,428	5,503	4,999	17,930	440	18,371
営業利益又は営業損失( )	2,184	1,728	135	4,048	(440)	3,608

当第一四半期（15.4.1～15.6.30）

（単位：百万円）

	化粧品 関連事業	健康食品 関連事業	その他事業	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,854	6,844	5,186	20,885	-	20,885
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	8,854	6,844	5,186	20,885	-	20,885
営 業 費 用	6,686	5,554	5,059	17,300	518	17,818
営業利益又は営業損失( )	2,168	1,289	127	3,584	(518)	3,066

## 〈ご参考〉

### (単独)貸借対照表

(百万円未満切捨て)

科 目	前 期 (15.3末現在)		当第1四半期 (15.6末現在)		増 減
	金 額	百分比	金 額	百分比	
流 動 資 産	30,665	45.7	29,146	43.7	1,519
固 定 資 産	36,408	54.3	37,513	56.3	1,105
資 産 計	67,074	100.0	66,659	100.0	415
流 動 負 債	8,435	12.6	7,113	10.7	1,322
固 定 負 債	1,221	1.8	1,257	1.9	36
負 債 計	9,656	14.4	8,370	12.6	1,286
資 本 金	10,795	16.1	10,795	16.2	-
資 本 剰 余 金	11,706	17.5	11,706	17.6	-
利 益 剰 余 金	39,084	58.2	39,955	59.9	871
評 価 差 額 金	1	0.0	1	0.0	-
自 己 株 式	4,168	6.2	4,168	6.3	-
資 本 計	57,418	85.6	58,289	87.4	871
資 本・負 債 計	67,074	100.0	66,659	100.0	415

### (単独)損益計算書

(百万円未満切捨て)

科 目	前年同期 (14.4.1~14.6.30)		当第1四半期 (15.4.1~15.6.30)		増 減	
	金 額	百分比	金 額	百分比	増減額	増減率
売 上 高	17,508	100.0	16,389	100.0	1,119	6.4
売 上 原 価	5,821	33.2	5,790	35.3	31	0.5
売 上 総 利 益	11,687	66.8	10,598	64.7	1,089	9.3
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	8,847	50.5	8,406	51.3	441	5.0
営 業 利 益	2,840	16.3	2,192	13.4	648	22.8
経 常 利 益	2,996	17.1	2,366	14.4	630	21.0
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	2,996	17.1	2,366	14.4	630	21.0
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,258	7.2	993	6.1	265	21.1
当 期 純 利 益	1,738	9.9	1,372	8.4	366	21.1